



日本テクノ・ラボ株式会社 (札幌アンビシャス：3849)

2024年3月期
決算補足説明資料

May 15, 2024

<https://www.ntl.co.jp/>



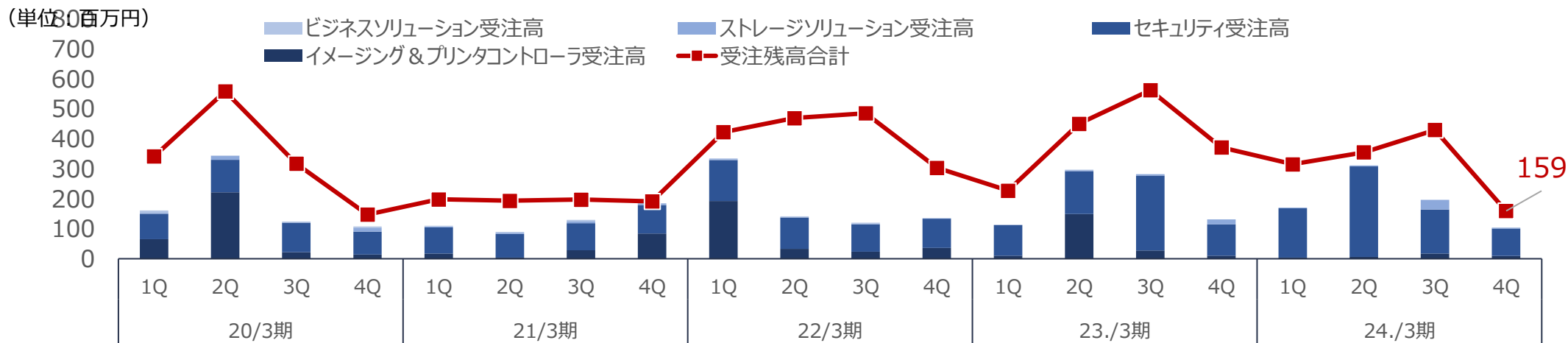
2024年3月期 決算概況

2024年3月期 総括



- FIRE DIPPER（OSCE含む）を中心にセキュリティ事業が増収増益、かつ、ストレージソリューション事業が増収で利益計上、結果、全体として+6.9%の増収、+2.7%の増益となった。
- 営業利益の増益幅が+2.7%に留まった理由としては、研究開発の強化、労務環境整備等により販売費及び一般管理費が前期比15.1%増加し、売上高営業利益率が△0.6%となったことによる。
- セキュリティ事業の保守売上高増加により、全事業の保守売上高は前期比+8.4%の増収となった。

受注残高とセグメント別四半期毎受注高推移



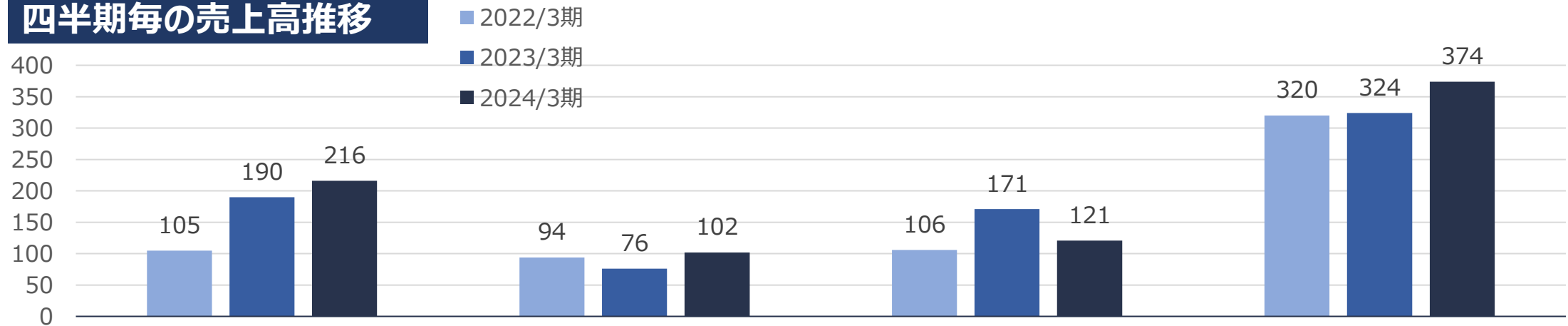
損益計算書サマリー



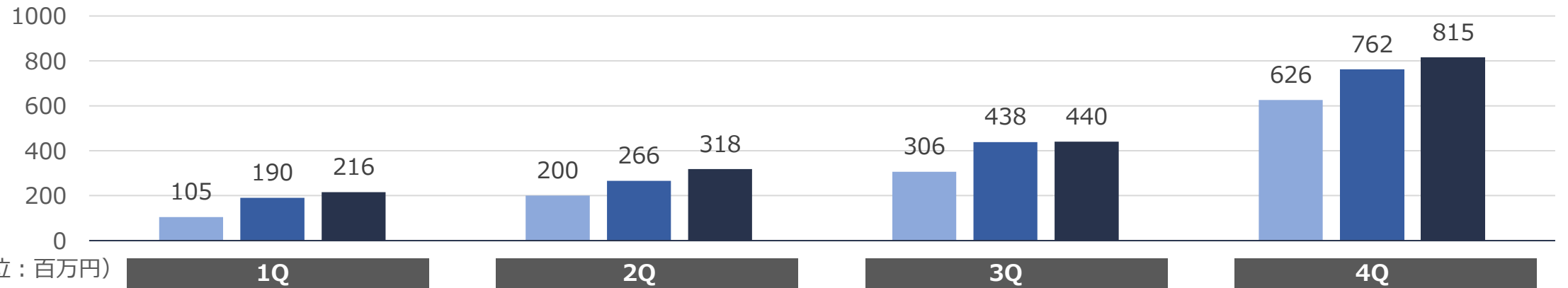
単位：百万円	2024/3期 実績	2023/3期 実績	前年同期比較	
			増減額	増減率
売上高	815	762	+52	+6.9%
売上総利益	480	430	+50	+11.6%
販売費及び一般管理費	357	310	+46	+15.1%
営業利益	122	119	+3	+2.7%
経常利益	125	122	+2	+2.4%
当期純利益	86	86	+0	+0.2%

四半期業績推移 (売上高：過去3期比較)

四半期毎の売上高推移



累計売上高推移



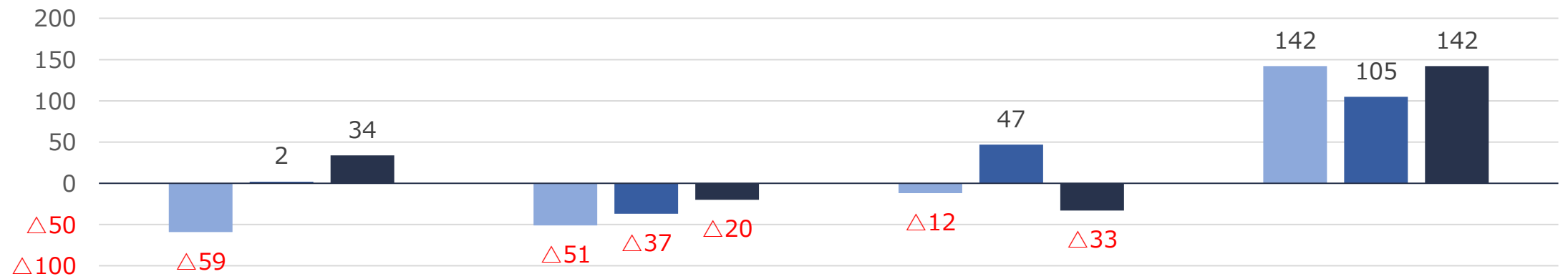
(単位：百万円)

四半期業績推移（営業利益：過去3期比較）

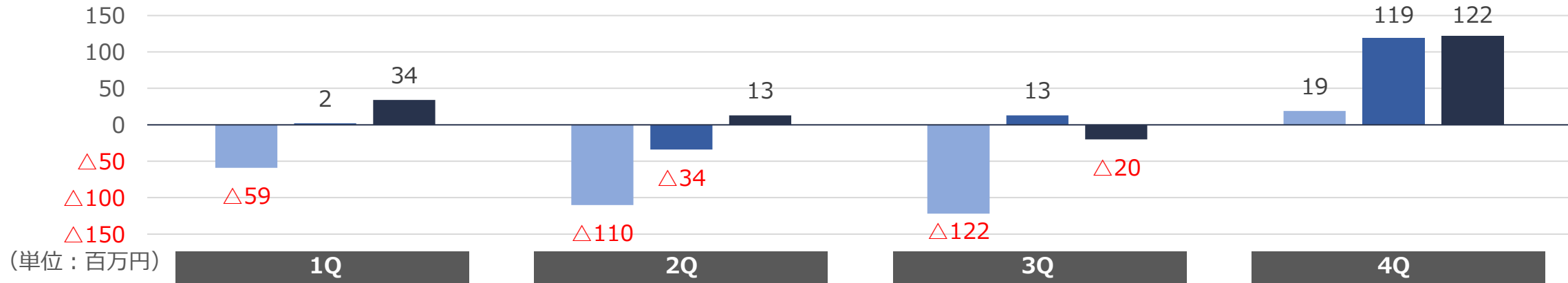


四半期毎の営業損益推移

■ 2022/3期 ■ 2023/3期 ■ 2024/3期



累計営業利益推移



貸借対照表



2023年3月末

2024年3月末

主な増減要因

資産

負債・純資産

資産

負債・純資産

資産の部

売掛金及び契約資産：+26百万円
 現金及び預金：△75百万円
 電子記録債権：△28百万円
 商品及び製品：△22百万円
 差入保証金：+52百万円増加
 保険積立金：+106百万円増加

1,384

1,384

1,435

1,435

負債・純資産の部

買掛金：+6百万円
 未払法人税等：△8百万円減少
 契約負債：△9百万円
 繰延税金負債：△1百万円
 利益剰余金：+62百万円（配当金の支払：△24百万円）

1,305

1,136

1,194

1,197

78

69

240

59

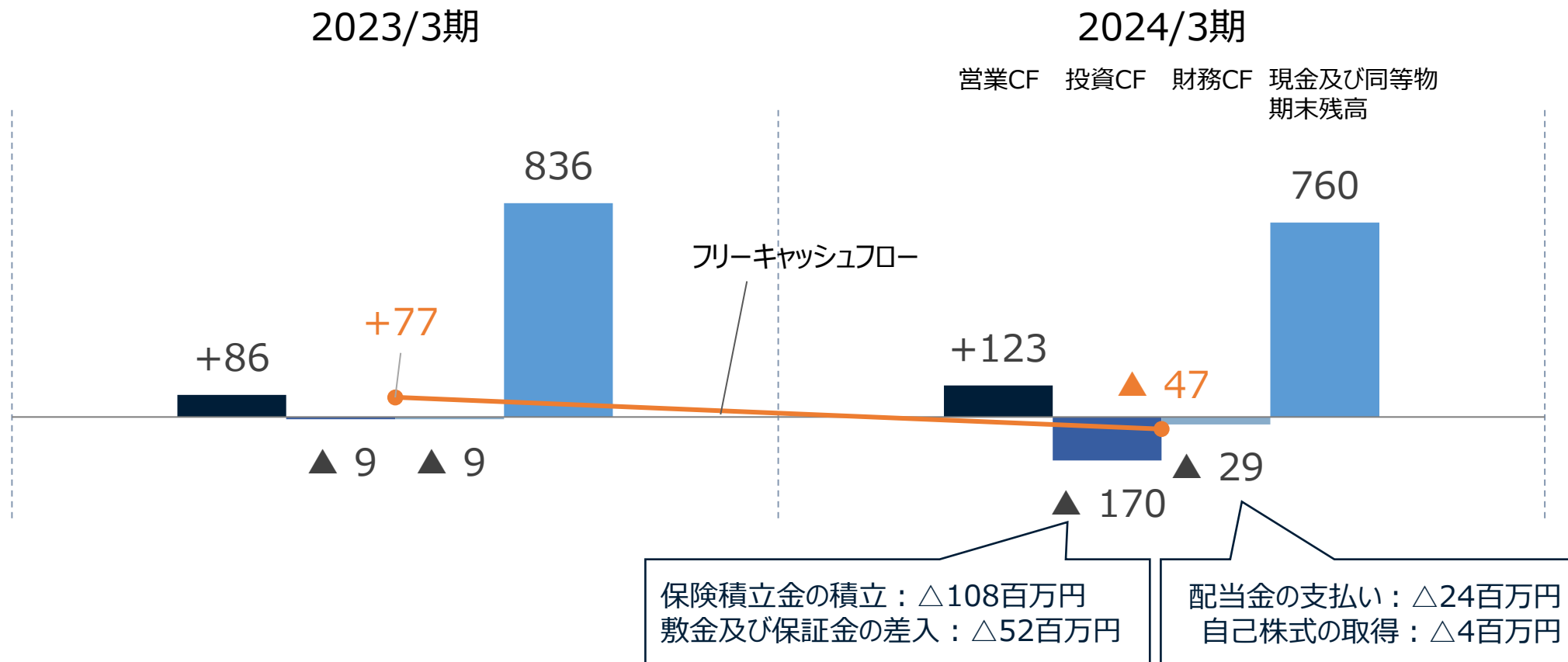
178

178

■ 流動負債 ■ 固定負債 ■ 純資産 ■ 固定資産 ■ 流動資産

単位：百万円

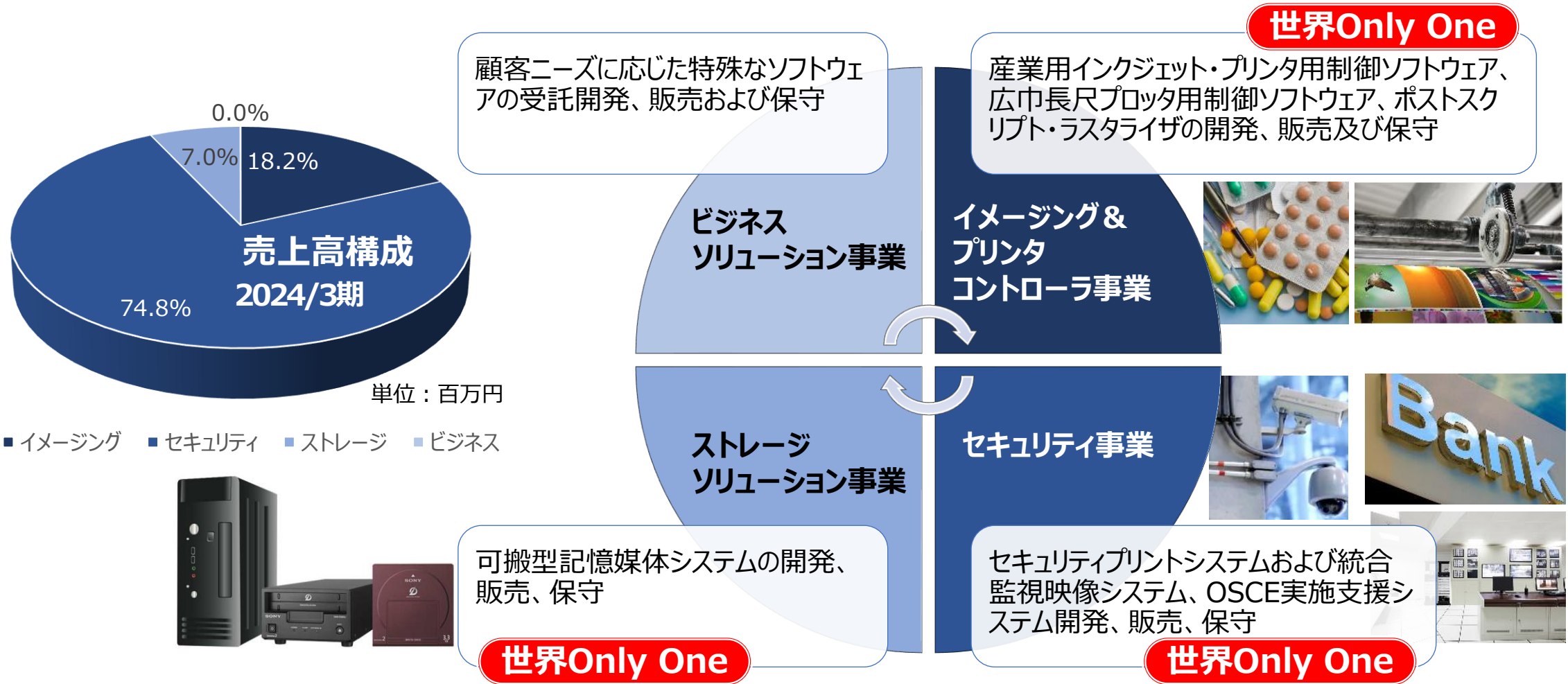
キャッシュフロー計算書





セグメント別 2024年3月期概況及び 2025年3月期事業方針

事業領域：セグメント情報



セグメント別情報 売上高／セグメント利益



単位：百万円		2024/3期		2023/3期		前年同期比較	
		売上高	構成比	売上高	構成比	増減額	増減率
イメージング&プリンタコントローラ	売上高	148	18.2%	248	32.6%	△100	△40.4%
	セグメント利益	30	11.5%	99	—	△68	△69.1%
セキュリティ	売上高	609	74.8%	499	65.5%	+110	+22.0%
	セグメント利益	234	87.1%	177	—	+56	+32.0%
ストレージソリューション	売上高	57	7.0%	11	1.5%	+45	+395.1%
	セグメント利益	3	1.4%	△34	—	+38	—
ビジネスソリューション	売上高	0	0.0%	3	0.4%	△2	△89.5%
	セグメント利益	0	0.0%	0	—	△0	△75.9%

イメージング & プリンタコントローラ事業



多様性+短納期+小ロット印刷を実現

成長戦略

ニューノーマルの生活様式が浸透する中で、環境意識の高まりもあり、パッケージデザイン等における多様性、短納期、小ロットのニーズが拡大。高機能なインクジェットプリンタコントローラへの期待が高まっている。

主力顧客である大手二社とのリレーション強化に重点を置きつつ、ニーズの高まりを捉え新規顧客開拓にも注力。

顧客ニーズを先取りするR&Dの継続により競合他社との技術差を拡大。

納入実績

株式会社シンク・ラボラトリー
株式会社小森コーポレーション

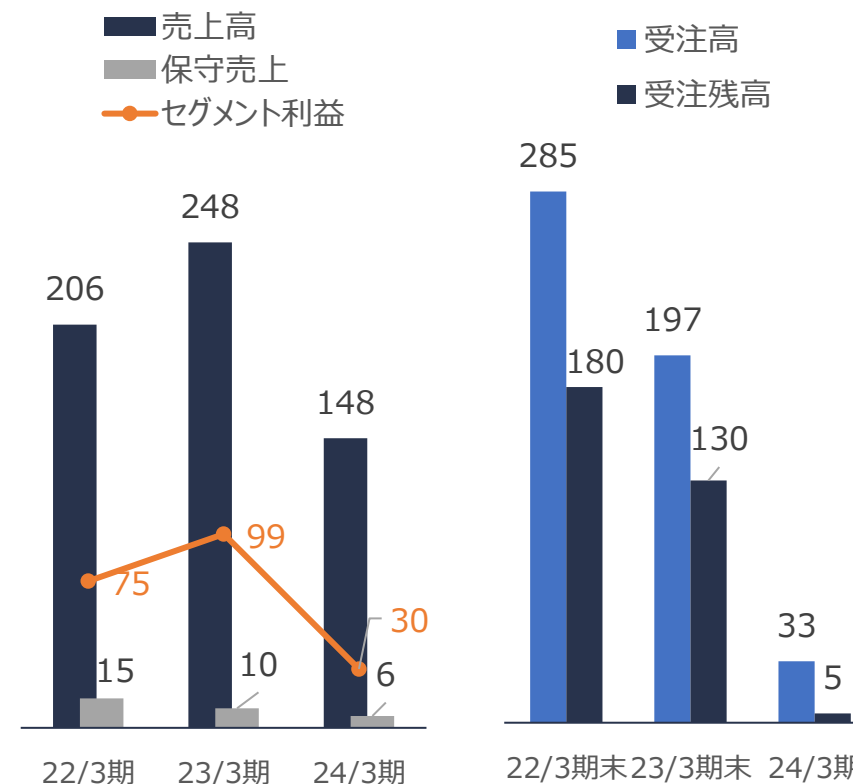
市場規模

2023年印刷機械生産金額 約2,000億円

出所：日本印刷産業連合会 印刷産業Quartly Report

セグメント別業績推移

単位：百万円



セキュリティ事業



独自技術でデータの新たな活用方法を提案

【SPSE】セキュリティプリントシステム

セキュリティ面（情報管理）に加え「脱炭素」「ペーパーレス」「省電力」の観点から引合いが増加中。総務省での採用を引き金に地方自治体等の導入が進んでおり、各省庁、地方自治体へ展開を継続。

【FIREDIPPER】統合映像監視システム

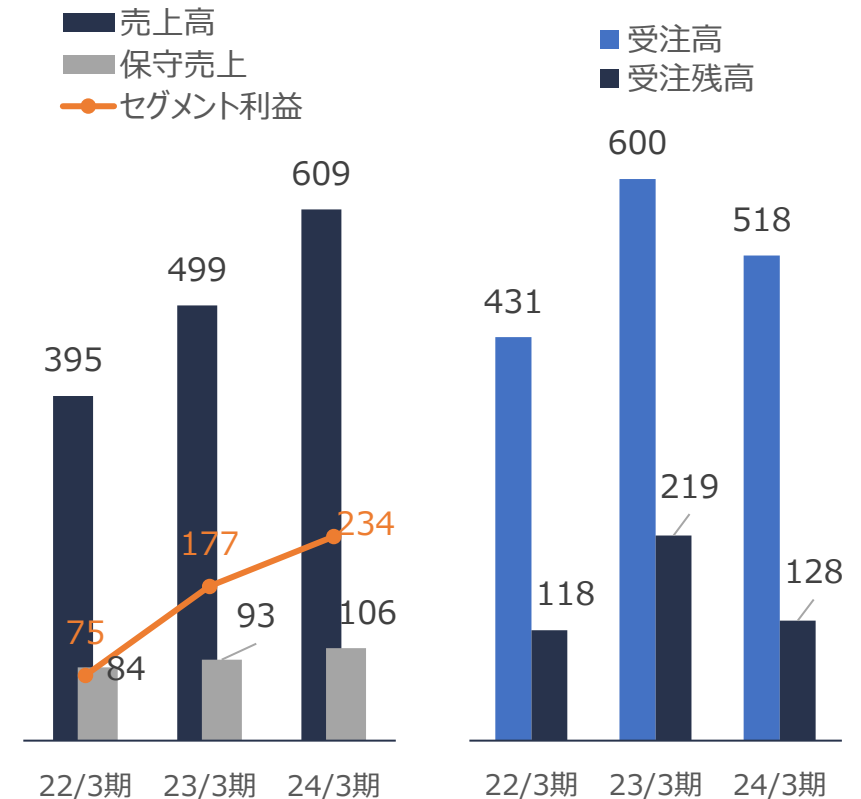
空港、発電所などの大型案件多数。原子力発電所のセキュリティ強化も追い風。AIを組み込んだ監視カメラシステムへの引合いが増加。強度なセキュリティに対応するためオンプレミス型をメインに新たな製品の開発にも積極的に取り組む。

【FIREDIPPER for OSCE】医療教育機関向けOSCE実施支援システム

FIREDIPPERを他用途（医師国家試験対策用）に転換。大学の医学部、看護学部、及び看護学校からの引合い、受注増加。新たな成長ドライバーとなる可能性大。

セグメント別業績推移

単位：百万円



ストレージソリューション事業



安全・省電力によるビッグデータ保存を実現

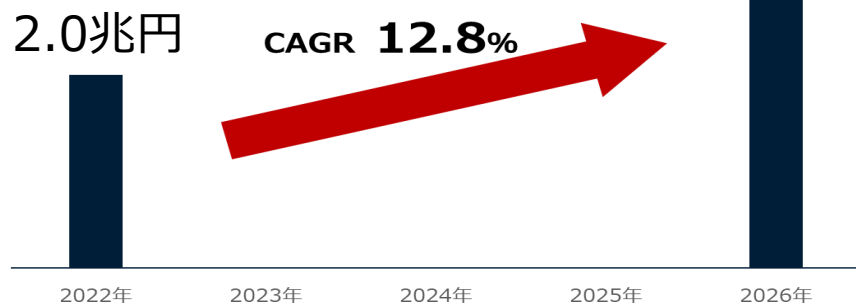
脱炭素社会の動きの一環から、省電力なビッグデータ保存用途として、大手製造業、医療現場、医療研究機関等からの引合いが増加中。

更なる受注獲得に向け営業力、プロモーションを強化。

ストレージ統合管理サーバ「MNEOS」は、2023年3月期と2024年3月期に国内完成車メーカーからの受注を獲得。

20年に亘る取り組みが収益化フェーズ入りし、今期は更なる飛躍を図る。

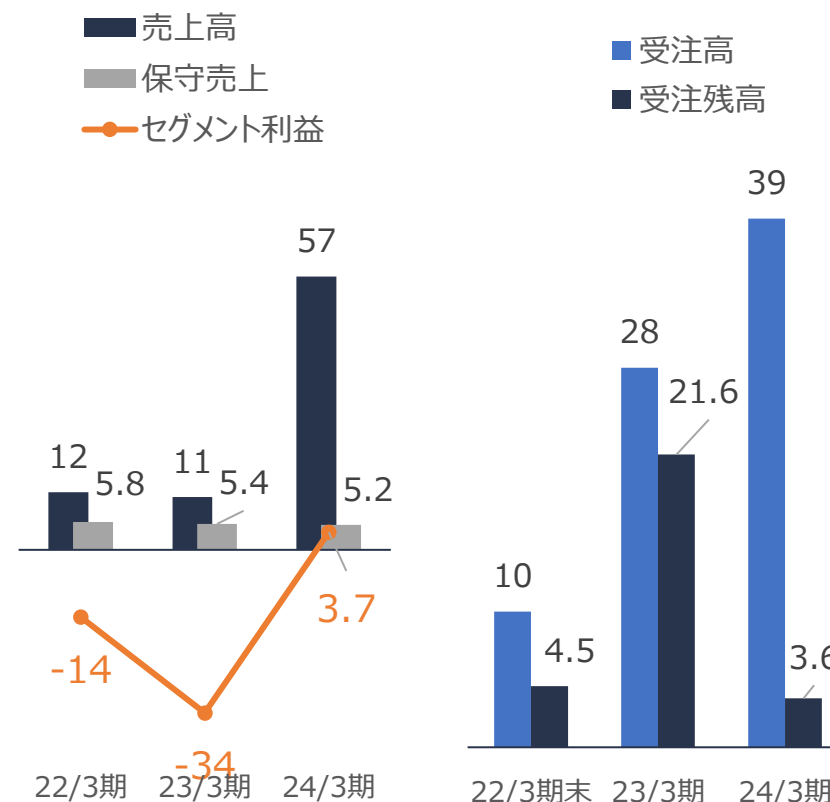
国内データセンターサービス市場予測 3.2兆円



出所：IDC「国内データセンターサービス市場予測2022年～2026年」

セグメント別業績推移

単位：百万円



2025年3月期通期業績予想



- セキュリティ事業とストレージ事業を軸に積極的な営業展開により売上の拡大を図る。
- 顧客ニーズの一步先を行く技術の実現に向けた研究開発を継続し、オンリーワンサービスの提供により業績の拡大を目指す。

	2025/3期 予想	2024/3期 実績	前年同期比較	
			増減額	増減率
売上高	900	815	+84	+10.4%
営業利益	200	122	+77	+63.4%
経常利益	200	125	+74	+59.5%
当期純利益	120	86	+33	+38.4%

中期成長イメージ



少数精鋭

Only Oneの技術

セキュリティ 情報

セキュリティ 映像

ストレージソリューション

イメージング&プリンタコントローラ

ビジネスソリューション



<https://www.ntl.co.jp/>

本資料につきましては投資家の皆様への情報提供のみを目的としたものであり、売買の勧誘を目的としたものではありません。

本資料における将来予想に関する記述につきましては、目標や予測に基づいており、確約や保証を与えるものではありません。又、将来における当社の業績が、現在の当社の将来予想と異なる結果になることがある点を認識された上で、ご利用ください。又、業績等に関する記述につきましても、信頼できると思われる各種データに基づいて作成されていますが、当社はその正確性、安全性を保証するものではありません。本資料は、投資家の皆様がいかなる目的にご利用される場合においても、お客様ご自身のご判断と責任においてご利用されることを前提にご提示させていただくものであり、当社はいかなる場合においてもその責任を負いません。